

【応募の際は下記青字部分を削除した上でご提出をお願いします。】

* 1 : 賞名①「科学技術政策担当大臣賞」を希望する場合、「応募者一覧」欄の代表応募者は下記とします。

- ・ 個人名応募の場合：若手の研究者、開発者、事業代表者等であること。
- ・ 団体名応募の場合：団体を代表する者が若手の研究者、開発者、事業代表者等であること。

* 2 : 賞名①「科学技術政策担当大臣賞」を希望する場合、「博士号情報」欄を必ずご記入ください。代表応募者（団体名応募の場合は主たる研究者）の氏名・大学・博士号取得年月・取得状況番号（下記）および令和7年4月1日時点での年齢をご記入ください。なお博士号取得者でない場合は未取得とご記入ください。

取得状況番号

- ① 令和7年4月1日時点で博士号取得後15年以下。
- ② 医学、歯学又は獣医学を履修する場合、博士課程修了後に、法律（医師法、歯科医師法又は獣医師法）に定める臨床研修を修了した者については、令和7年4月1日時点で博士号取得後17年以下。
- ③ 博士号取得後から15年以内（②に該当する者は17年以内）に、出産・育児により研究に専念できない期間があった者については、令和7年4月1日時点で博士号取得後20年以下（②に該当する者の場合は、博士号取得後22年以下。）。
- ④ 博士号取得後から15年以内（②に該当する者は17年以内）に介護等にて研究に専念できない期間があった者については、①の条件に当該期間分（最大2年）を引き上げる。

※応募書類に博士号取得年月・大学を記入し、また、博士号取得が平成22年3月以前の場合、その理由を記述してください。③又は④に該当する場合は、母子手帳の写し、要介護認定の証明書写し等を追加で提出してください。必要に応じ確認します。

スタートアップに関する基本情報※	
(1) 法人番号 (法人番号とは : https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/setsume/)	
(2) 法人名 (※法務局に登録している正式名称)	
(3) 会社 URL	
(4) 代表者名	
(5) 郵便番号 (※ハイフン不要)	
(6) 所在地 (※住所)	
(7) 設立年月日 (yyyy/mm/dd)	
(8) 従業員数	名
(9) 主要な事業 (※60文字以内)	

※応募者にスタートアップ^(注)が含まれる場合のみ記入ください。応募者の中にスタートアップが複数ある場合は、表を複製して追加してください。

(注) 原則設立 15 年以内の科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律（平成20年法律第63号）第2条第14項に規定する中小企業者等であって、研究開発成果の事業化を目指すもののうち、その研究開発が革新的であると認められるもの。

【取組・プロジェクトの概要】

(必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800字以内、推奨フォント：MSゴシック、推奨サイズ：10.5pt)

【記入内容】

取組全体概要（連携の内容、目的、客観的な効果等）についてご記入ください。

客観的な効果等について実績が見込みかがわかるようにご記入ください。

（概要図（文字数に含めない）の使用は可）

※A4用紙1枚（本ページ内）に収めること、超過分は審査対象から外れます。

※本テキストボックス（破線部）は確認後、削除してください。

【連携の目的】社会的ニーズへの貢献について

(必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800字以内、推奨フォント：MSゴシック、推奨サイズ：10.5pt)

【記入内容】

社会的ニーズや課題の解決等への貢献、将来の社会や産業の在り方に革新を起こす可能性をご記入ください。(概要図(文字数に含めない)の使用は可)

(評価ポイント)

- ・社会課題やニーズ対応のインパクト・影響の大きさ
- ・SDGsの課題設定やKPIを参考にした目標の設定
- ・政府の掲げる社会課題への対応
- ・将来の社会や産業の在り方への革新的インパクト・影響の大きさなど

※A4用紙1枚(本ページ内)に収めること、超過分は審査対象から外れます

※本テキストボックス(破線部)は確認後、削除してください

【連携の内容】先導性・独創性について

(必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800字以内、推奨フォント：MSゴシック、推奨サイズ：10.5pt)

【記入内容】

イノベーションを創出するための連携の体制づくり、拠点の構築、プロジェクトの進捗や知財のマネジメント、参画機関・参画者のコミュニケーション等における先導性や独創性をご記入ください。

(概要図(文字数に含めない)の使用は可)

(評価ポイント)

- ・従前にはないプレイヤーの巻き込み
- ・互いの良いところを組み合わせ弱いところを補完する体制づくり
- ・適時適切なプロジェクトの進捗管理
- ・早めかつ包括的な知財戦略
- ・参加機関や参加者のモチベーションを維持向上するコミュニケーション手法の導入など

※A4用紙1枚(本ページ内)に収めること、超過分は審査対象から外れます。

※本テキストボックス(破線部)は確認後、削除してください。

【連携の効果】客観的な効果と持続可能性について

(必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800字以内、推奨フォント：MSゴシック、推奨サイズ：10.5pt)

【記入内容】

連携の取組の効果が上がっているか、効果が上がる見込みがあるか、連携の実施において公的資金に過度に依存していないか、持続的かつ自立的な連携かなどをご記入ください。

(概要図(文字数に含めない)の使用は可)

※必ず何らかの数値指標を所定の欄にご記入ください。(項目数は適宜追加/削減ください。)実績が見込みかがわかるようにご記入ください。

数値指標の例：取組プロジェクトにおける売上、利益、雇用創出、参加者数、賛同者数、資金調達額、予算規模、取組プロジェクトで実現する効率性、生産性の向上を示す数値、その他取組において設定したKPI等

(評価のポイント)

- ・連携の効果や持続可能性を示す定量的な数値
- ・プロジェクトの効果と持続可能性を示す定性的な事項など

※A4用紙1枚(本ページ内)に収めること、超過分は審査対象から外れます。

※本テキストボックス(破線部)は確認後、削除してください。

効果等を示す
数値指標

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・